

2026

隣保館だより

9月号



NO. 390

発行・編集

鹿沼市隣保館

鹿沼市万町 931-1

TEL 0289-64-4776

鹿沼秋まつり
10月10・11日



「ウェルフェア in かめま 2026 & 福祉と人権の集い」のご案内

～地域内、会館利用者をはじめ、どなたでもお気軽にお越しください～

日時：令和8年10月25日(日) 9:30開会

場所：鹿沼市総合福祉センター 屋内、屋外

内容： 9:30～10:00 開会行事

10:00～11:00 ゲートキーパー研修

「ゲートキーパーになろう」

栃木いのちの電話 大橋 房子 氏

11:00～11:15 利用団体発表

11:15～11:30 人権〇×クイズ大会：人権擁護委員

11:30～12:30 ビンゴゲーム大会

：南部地区連絡会議

12:30～14:00 昼食・歓談

※内容・時間は計画段階のものであり、変更となることがあります。



会場では、水ヨーヨーすくい、缶バッジづくり、ベリーちゃん焼き、フランクフルトの販売など多彩な催しを企画しております。
どうぞお楽しみに！

ゲートキーパーってなに？

ゲートキーパーとは、悩みを抱え自殺のサインを発している人に気づき、声をかけ、話を聞き、必要に応じて専門機関につなぎ、見守る人のことです。特別な資格が必要なわけではなく、家族や友人、職場の同僚、地域の人など、誰でもなることができます。

ゲートキーパーの主な行動は次の4つです。

- ・気づく：表情や行動の変化、悩みのサインに気付く。
- ・声をかける：「大丈夫？」「何かあった？」など、相手に気をかけて声をかける
- ・話を聴く：相手の気持ちを否定せず、焦らずに話を聴く。
- ・つなぐ、見守る：必要に応じて家族や専門機関などの支援に繋ぎ、その後も気にかける。

9月10日は「世界自殺予防デー」で、自殺について考え、予防への理解を深める日とされています。日本では9月10日から16日までを「自殺予防週間」としています。

一人ひとりが「いつもと違う様子」に気づき、勇気を持って声をかけることが自殺を防ぐための大切な一歩になります。

鹿沼市では・・・

本年3月に「鹿沼市自殺対策計画(第2期)」を策定しました。計画では、保健、医療、福祉、教育、労働やその他の関係機関・団体等との連携体制をより一層強化し、自殺対策の推進を図ります。



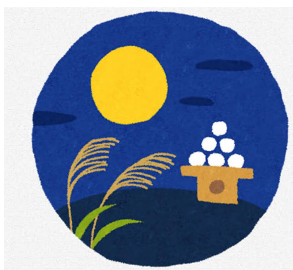
人権に関する映画鑑賞会

8月20日（木）午前10時より、第6回高齢者ふれあい事業に参加者23名にて人権映画鑑賞を行いました。

この企画は、毎年8月1日～31日は、「栃木県人権教育・啓発推進県民運動」と位置付けられ、鹿沼市においても「人権啓発市民運動強調月間」とし、啓発等行っていますが、隣保館もこれに合わせ人権啓発の一環として取り組みました。

私たちの心の中には、自分と他人を比べてしまい、他人の人権を自分の事として受け入れられず、自分の人権を守るために他人の人権を少なからずないがしろにしている現状ではないでしょうか？人権を考えると、世の中のすべての人々が命を大切に平和に安心して暮らせることです。

この映画鑑賞では、ゆわれなき差別と偏見で世の中から排除されてきた人々が、差別から逃げていた自分を取り戻し未来に向かって生きていく作品でした。参加者の皆さんは、2時間あまりの鑑賞でしたが、最後まで画像に見入って、差別する事が人の人生を蔑ろにし、心を傷つけ、生活を無茶苦茶にすることを学び改めて人権について考える機会となりました。



高齢者の人権を考えてみましょう

鹿沼市の65歳以上の高齢化率（2020年国勢調査）で、30.5% 高齢者世帯も12.3%と高い割合を示しています。

高齢者を取り巻く状況もアンケートによると「悪徳商法」「病院や介護施設における劣悪な環境」「社会で邪魔者扱い」など人権侵害がおきています。また、家庭内での介護を行う人も介護疲れで、精神的に追い詰められ孤立して行くなど、問題が多くあります。

先日21日に「敬老の日」がありました。「敬老の日」の始まりは、1947年（昭和22年）兵庫県谷間町の当時村長が「お年寄りを大切にして村の発展のため知恵を借りよう」と提唱し、敬老会を開催したことが発祥とされ、昭和38年老人福祉法が施行され「老人の日」に。さらに、昭和41年に国民の祝日に関する法律が改正され「敬老の日」と発展しました。

敬老の日は、高齢の人を大切にし、長く社会を支えてきたことに感謝して、元気で長生きをし、同時に地域で助け合いながら一緒に安心して暮らせるよう考える日でもあります。

10月1日は、「国際高齢者デー」

日本の「敬老の日」と同じくお年寄りのための記念日や祝日は、各国にも存在し、10月1日は「国際高齢者デー」です。1990年12月14日に国連総会で制定され、21世紀の人口高齢化の機会と課題に対応し、あらゆる年齢層に配慮した社会発展を促進することを目標とし、高齢者の権利や高齢者差別、高齢者虐待撤廃など意識向上を目的として、各国で高齢者に関する研究発表やシンポジウムが開かれています。

